

建築基準法第43条第2項第2号の規定に基づく許可に関する包括同意基準のイメージ図

建築基準法第43条第2項第2号の規定による許可の申請がなされ、その敷地が次のいずれかに該当する場合、知事は個別に審査会に諮問することなく許可できるものとする。

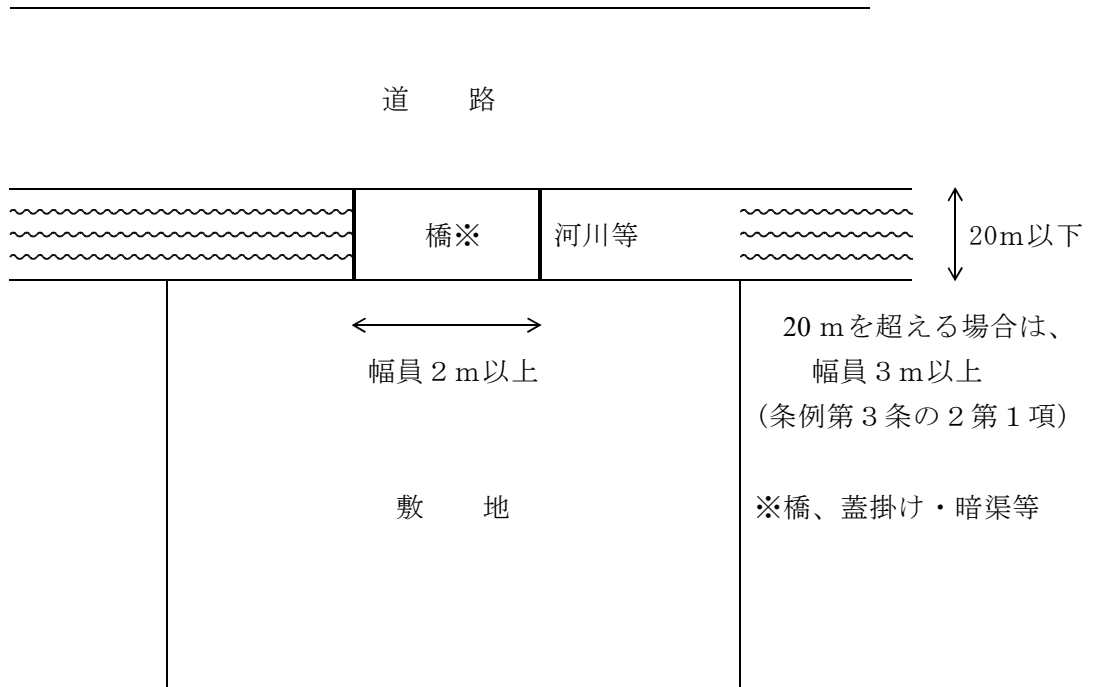
知事は、この基準により許可した年度毎の件数について、次年度当初の建築審査会において報告するものとする。

第1 建築物の敷地と道路の間に河川又は水路（以下「河川等」という。）があり、その敷地が次のいずれかに該当する幅員2メートル以上の橋その他の通路により接続している場合。ただし、橋その他の通路を敷地の一部とした場合に福島県建築基準法施行条例第3条の2又は第4条の規定に適合しないものを除く。第2において同じ。

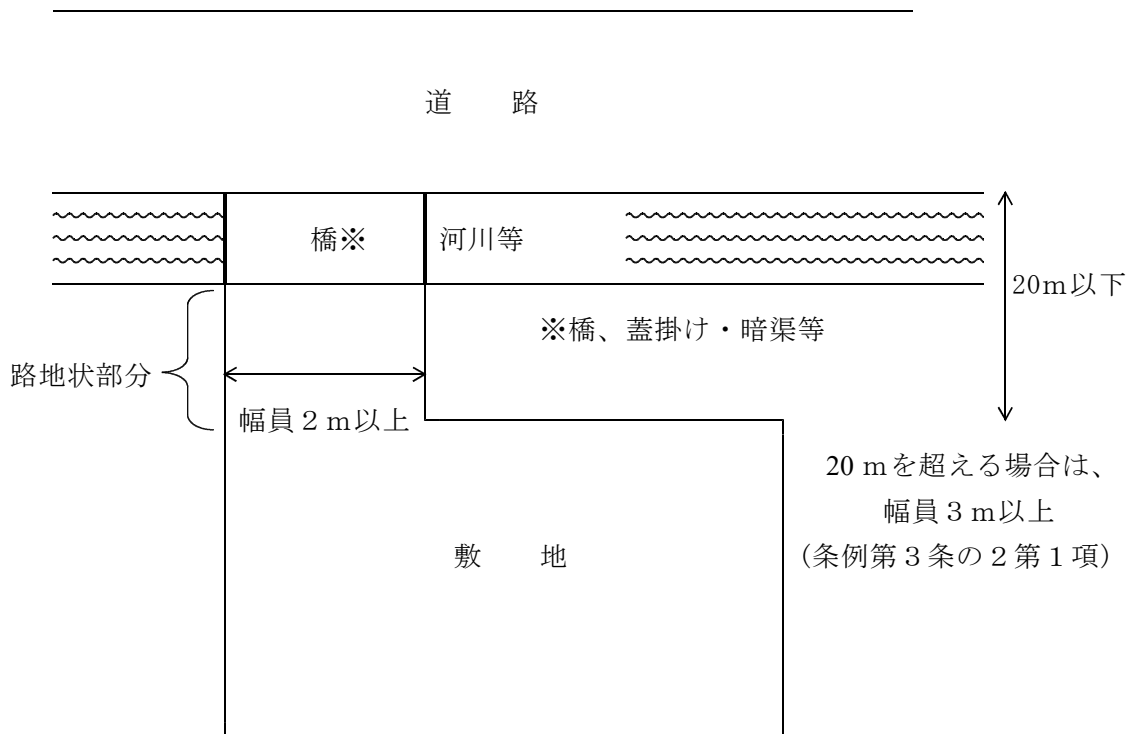
- (1) 建築主が河川管理者又は水路管理者の使用許可を得て設置した橋
- (2) 道路管理者、河川管理者、水路管理者等が設置した橋又は蓋掛けをした部分等で管理者の使用許可又は同意を得たもの

※建築基準法第43条第2項第2号の許可について同意

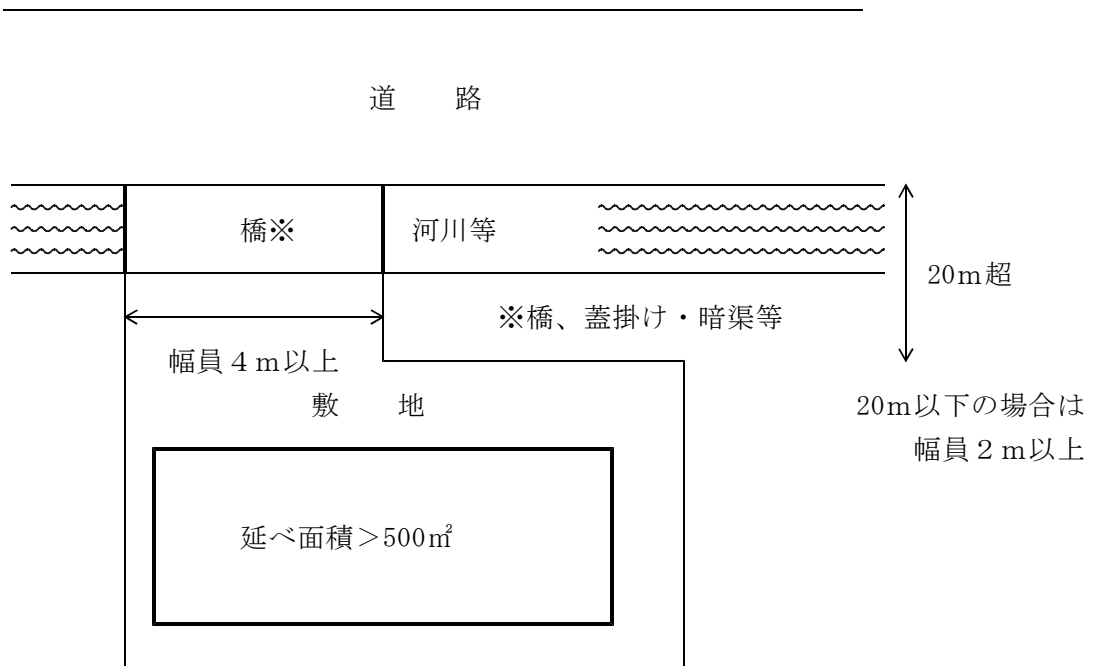
○敷地と道路の間に河川等がある場合



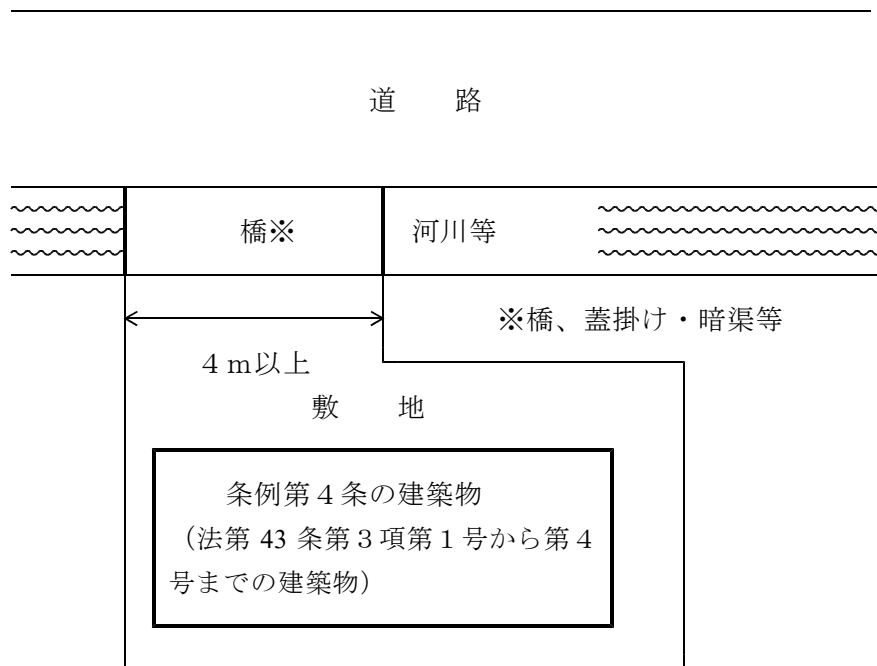
○敷地の路地状部分と道路の間に河川等がある場合



○建築物の延べ面積が500平方メートルを超える場合（条例第3条の2第2項）



○条例第4条の建築物の場合（条例第4条）

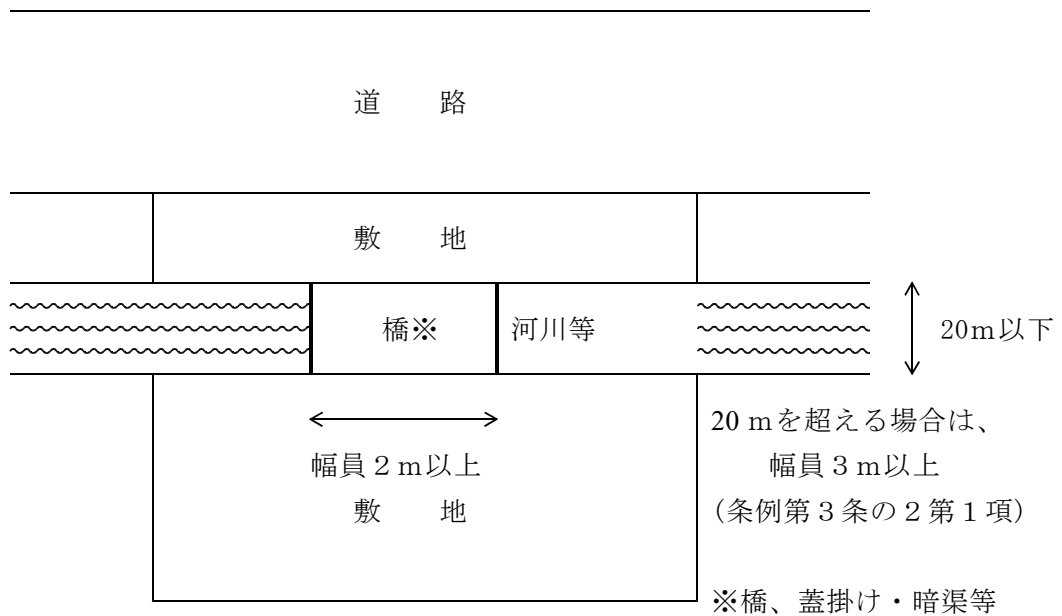


- 法第43条第3項
- ・第1号 特殊建築物(延べ面積200m²超)
 - ・第2号 階数が3以上の建築物
 - ・第3号 無窓居室を有する建築物
 - ・第4号 延べ面積1,000m²超の建築物

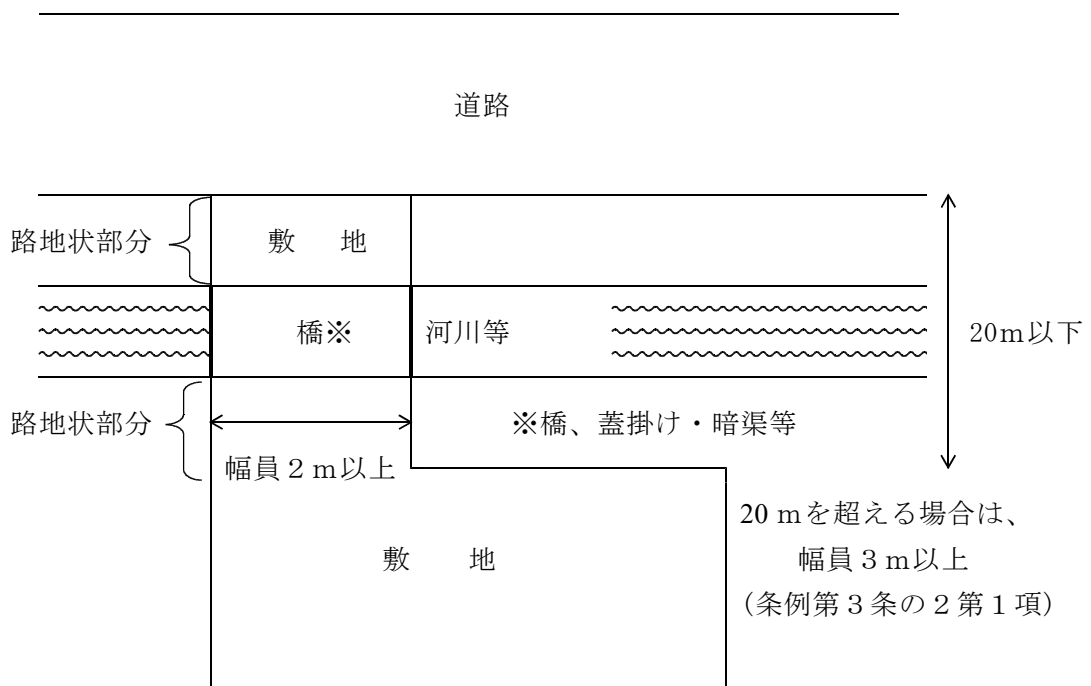
第2 道路に接する建築物の敷地の中に河川等があり、当該河川等によって分断された敷地が次のいずれかに該当する幅員2メートル以上の橋その他の通路により接続している場合。

- (1) 建築主が河川管理者又は水路管理者の使用許可を得て設置した橋
- (2) 河川管理者又は水路管理者等が設置した橋又は蓋掛けをした部分等で管理者の使用許可又は同意を得たもの

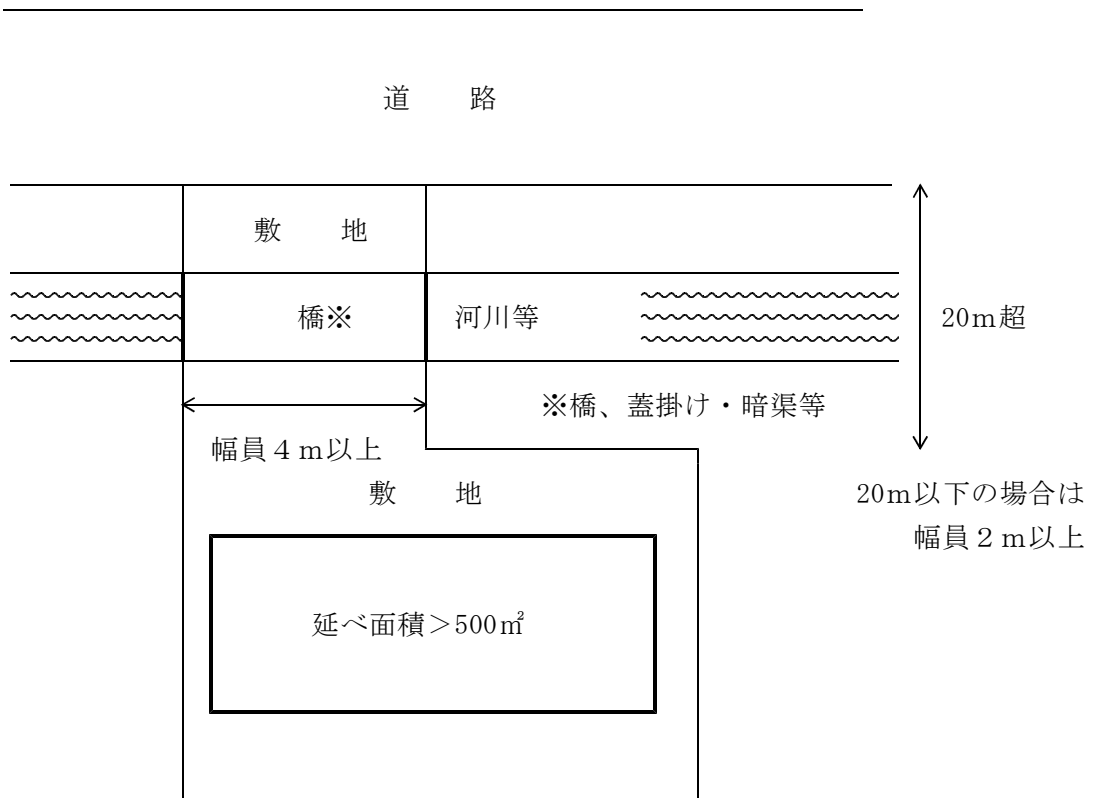
○敷地が1の河川または水路により分断されている場合



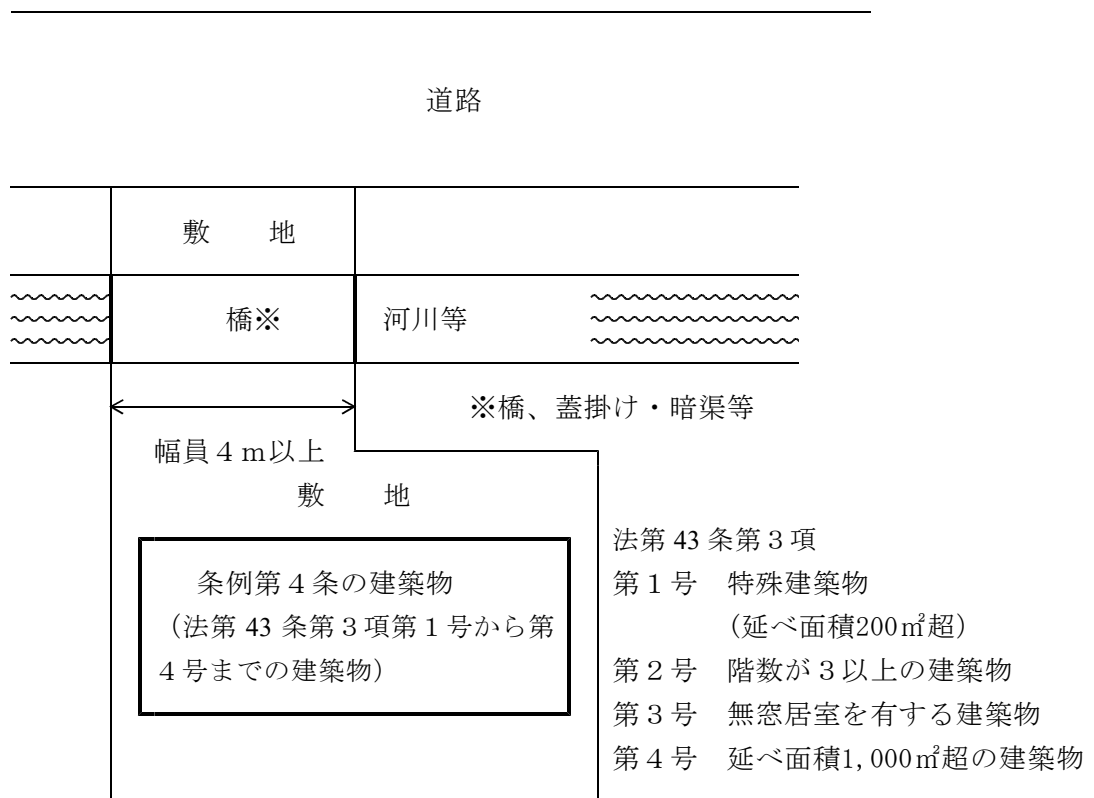
○敷地の路地状の部分に河川等がある場合



○建築物の延べ面積合が500平方メートルを超える場合（条例第3条の2第2項）



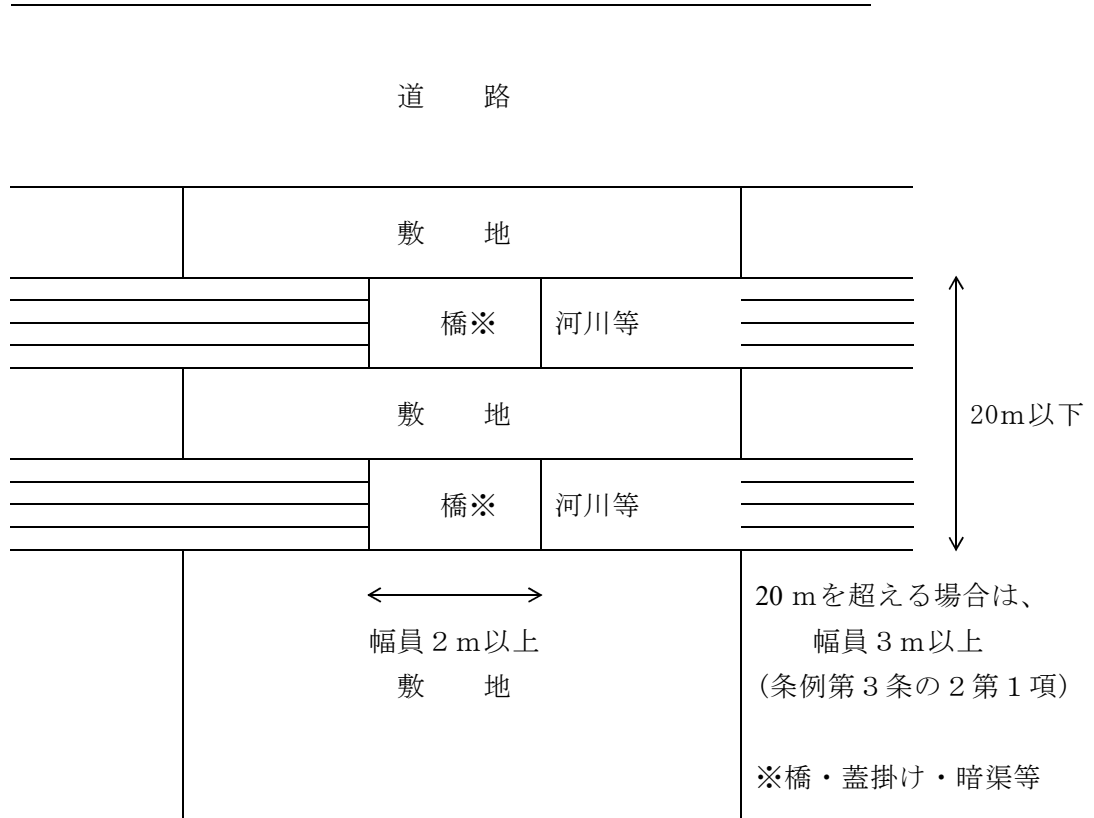
○条例第4条の建築物の場合（条例第4条）



第2

2 道路に接する建築物の敷地の中に複数の河川等があり、当該河川等によって分断された敷地が前項各号のいずれかに該当する幅員2メートル以上かつ延長20メートル以下の橋その他の通路（複数の河川等で挟まれた敷地を含む。）により、接続している場合。

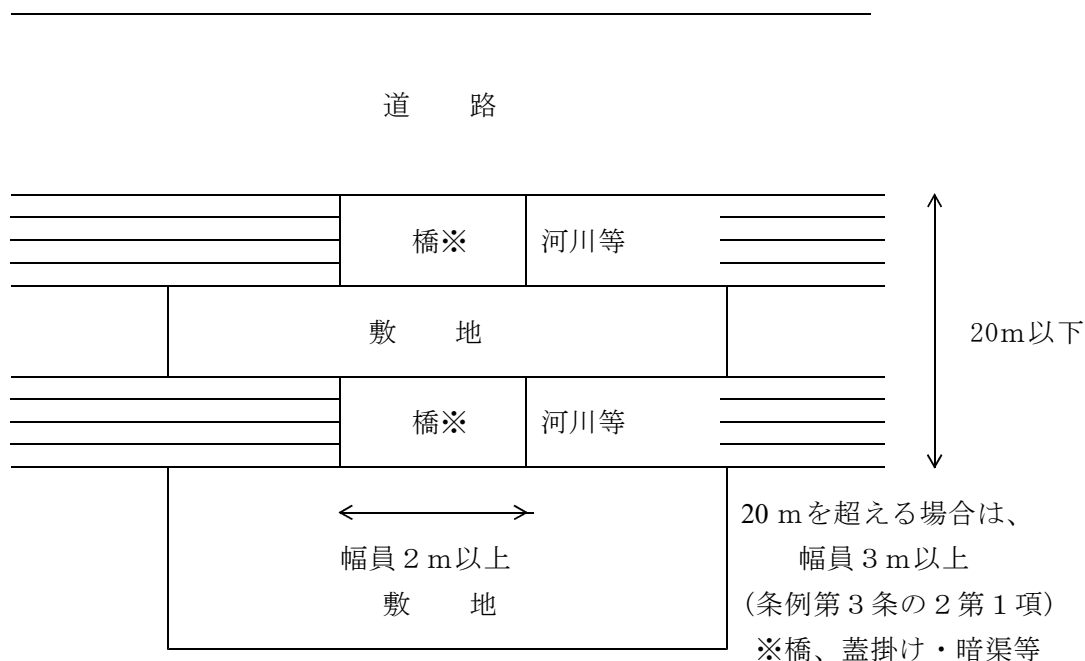
○敷地が複数の河川または水路により分断されている場合



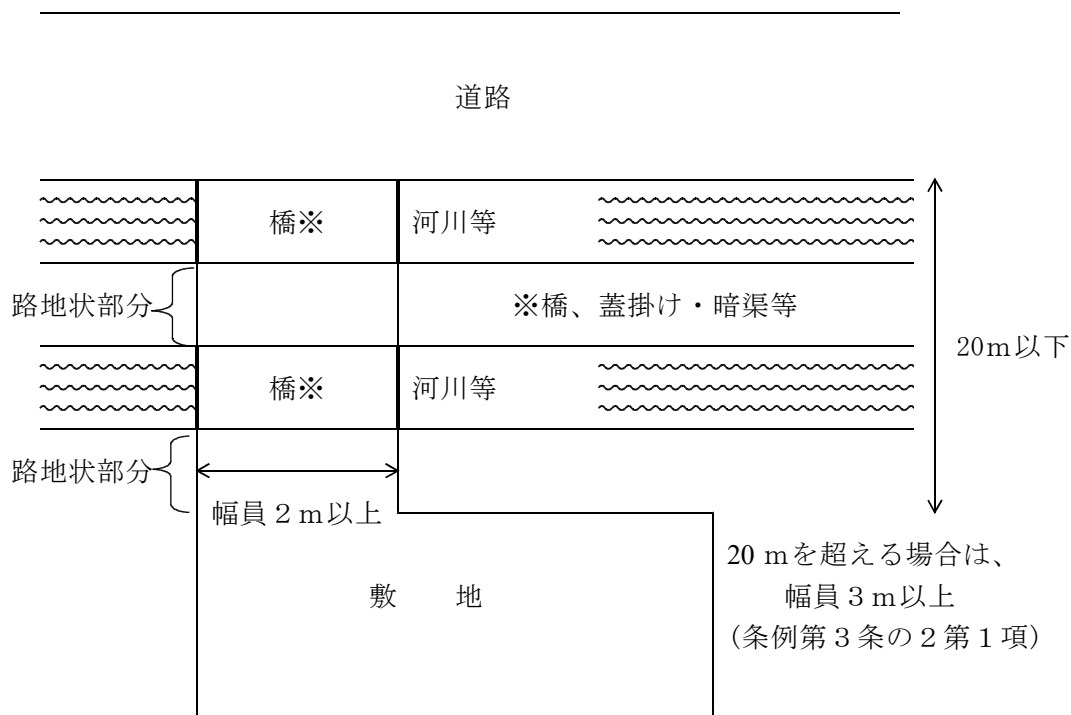
条例を準用する場合のイメージ図は、第2第1項のイメージ図の河川等が複数あるものとして

第3 第1と第2の組合せに該当する場合。この場合において、第1ただし書の規定中「橋その他の通路」とあるのは、「橋その他の通路（複数の河川等で挟まれた敷地を含む。）」とする。

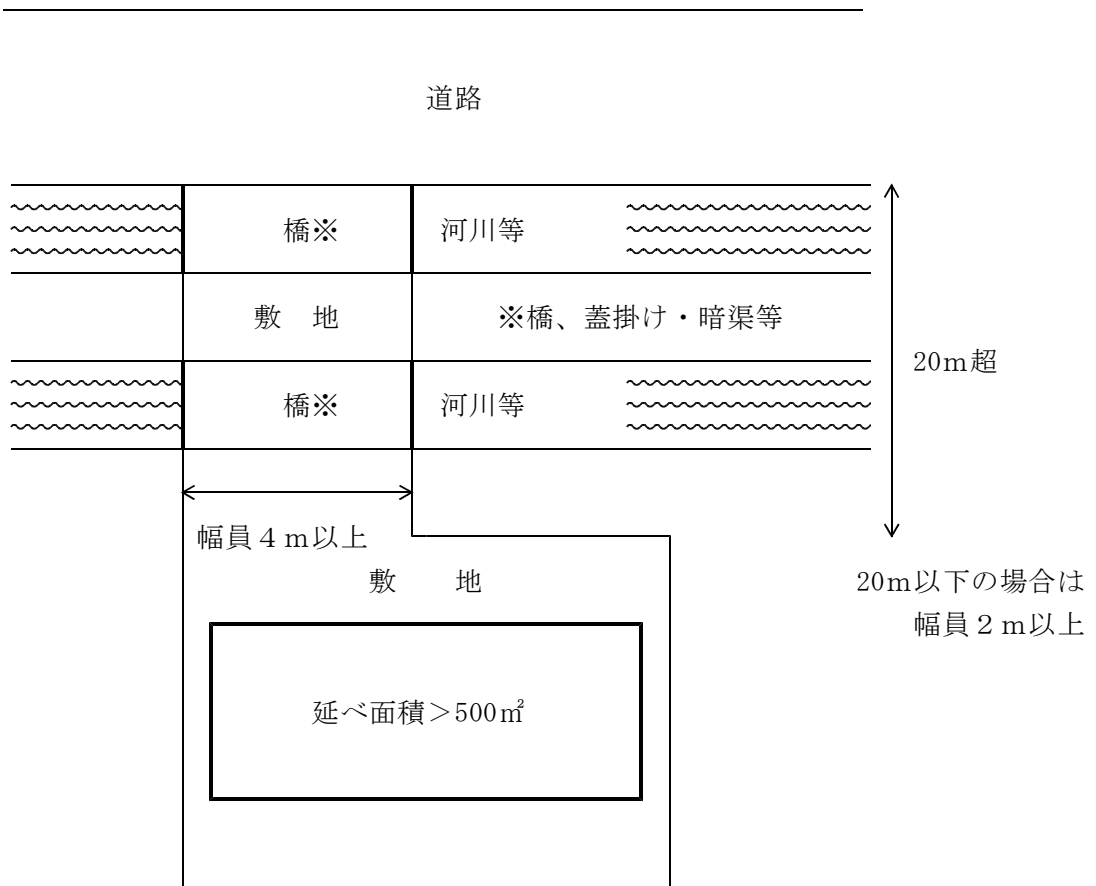
○敷地と道路の間と敷地を分断する河川等がある場合



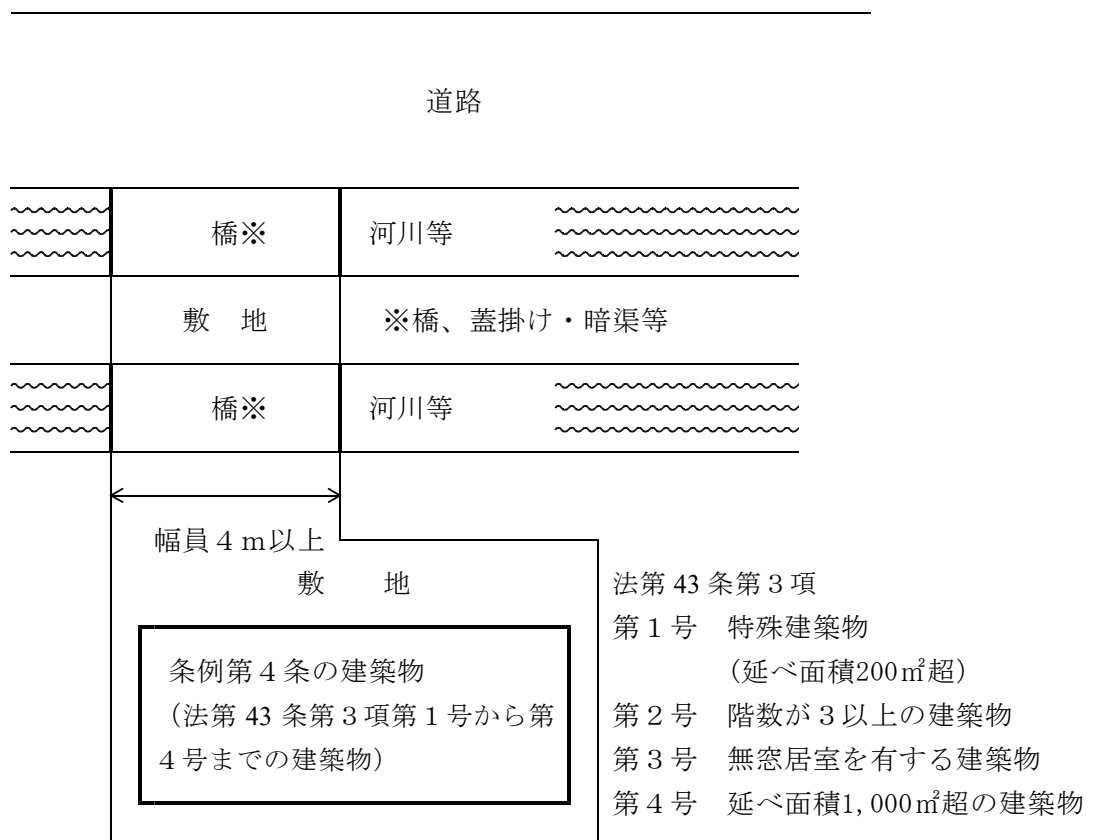
○敷地の路地状部分に複数の河川等がある場合



○建築物の延べ面積合が500平方メートルを超える場合（条例第3条の2第2項）



○条例第4条の建築物の場合（条例第4条）



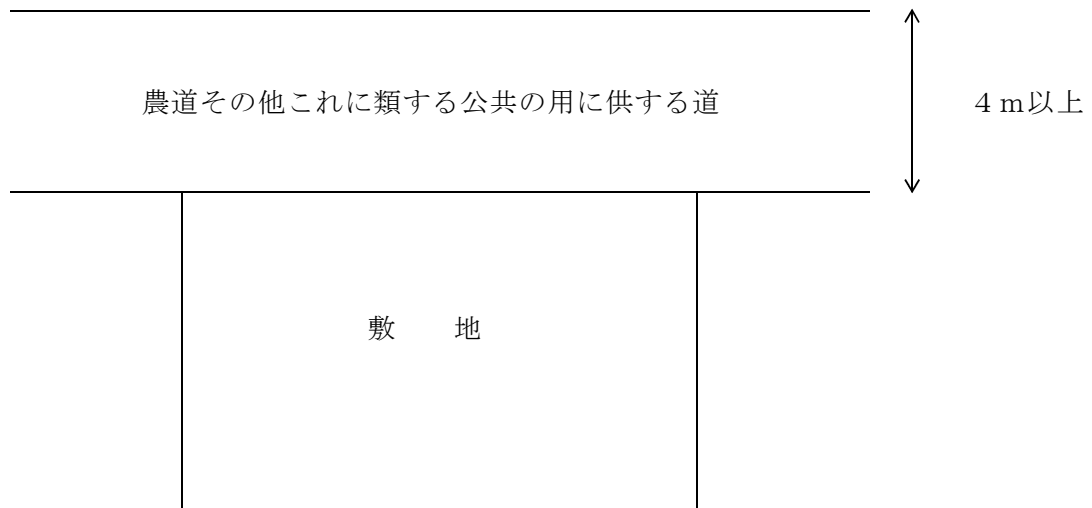
第4 建築物の敷地が幅員4メートル以上の農道その他これに類する公共の用に供する道に接しており、当該道の管理者から同意を得た場合

2 前項に該当し、かつ、次の各号のいずれかに該当する場合。この場合において、第1及び第2の規定中「道路」とあるのは、「農道その他これに類する公共の用に供する道」とする。

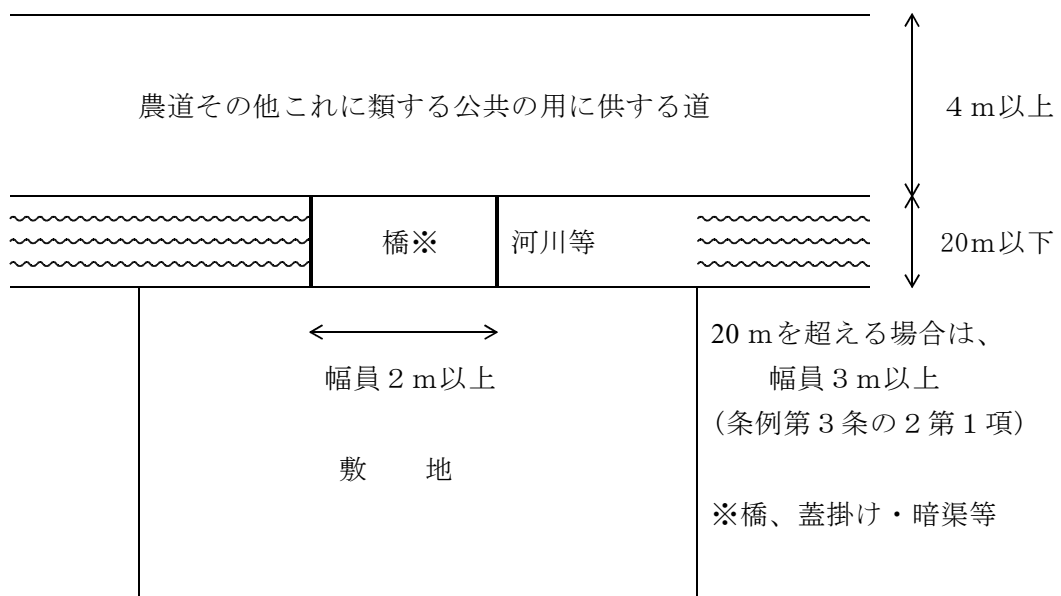
- (1) 第1に該当する場合
- (2) 第2に該当する場合
- (3) 第3に該当する場合

注：福島県建築基準法施行条例第3条の2及び第4条の規定の準用をする場合のイメージは、第1、第2、第3のイメージ図の「道路」とあるのは、「農道その他これに類する公共の用に供する道」と読み替えたものとする。

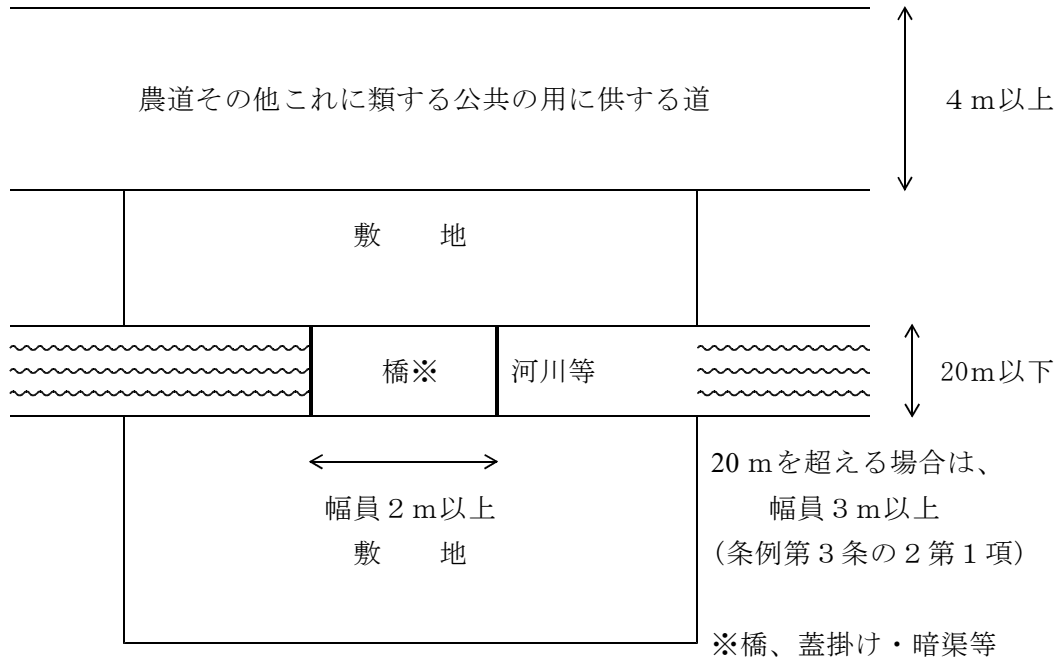
○4メートル以上の農道その他これに類する公共の用に供する道に接する場合



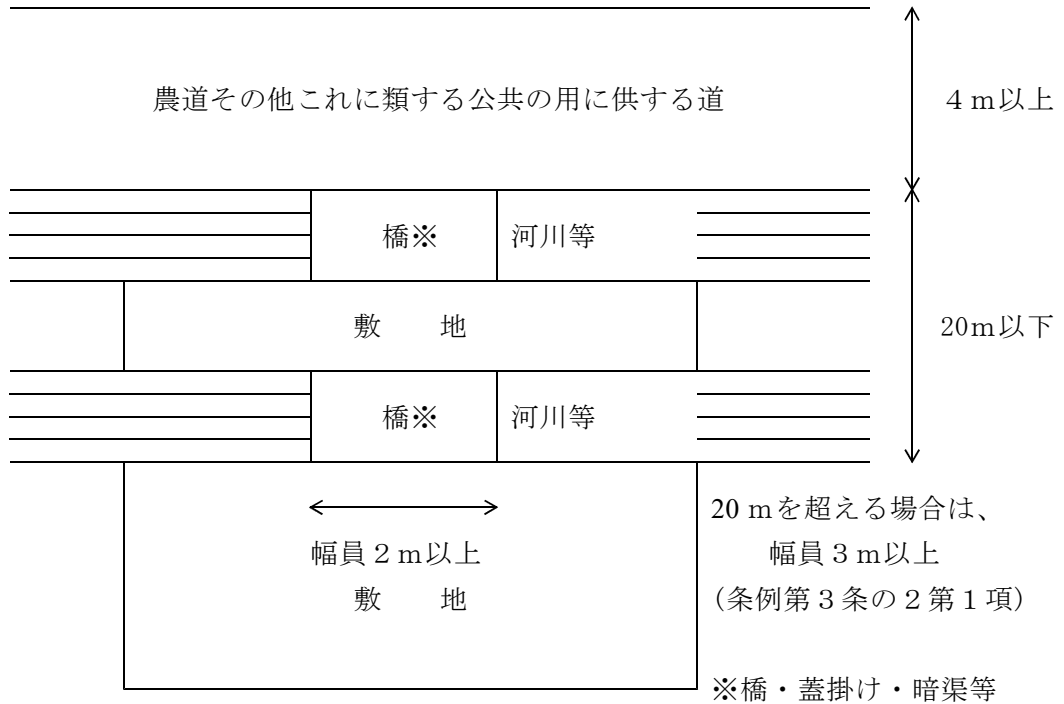
○第1に該当する場合



○第2に該当する場合



○第3に該当する場合



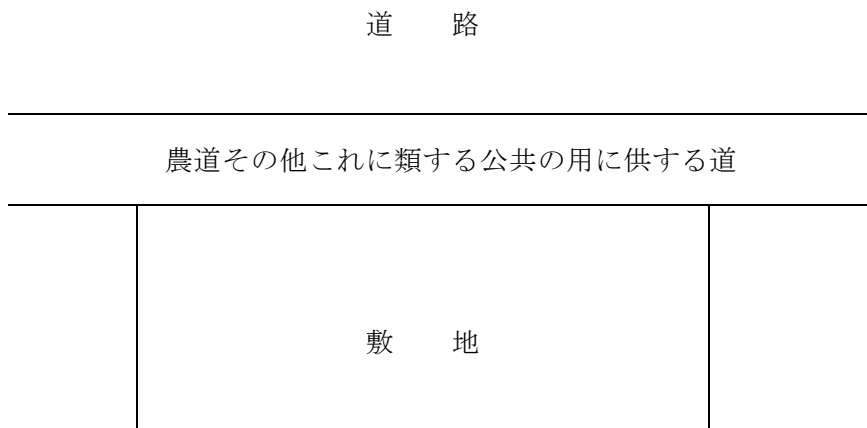
第5 建築物の敷地と道路の間に道路と並行する農道その他これに類する公共の用に供する道があり、当該道の管理者から同意を得た場合。

2 前項に該当し、かつ、次の各号のいずれかに該当する場合。この場合において、第1及び第2の規定中「道路」とあるのは、「農道その他これに類する公共の用に供する道」とする。

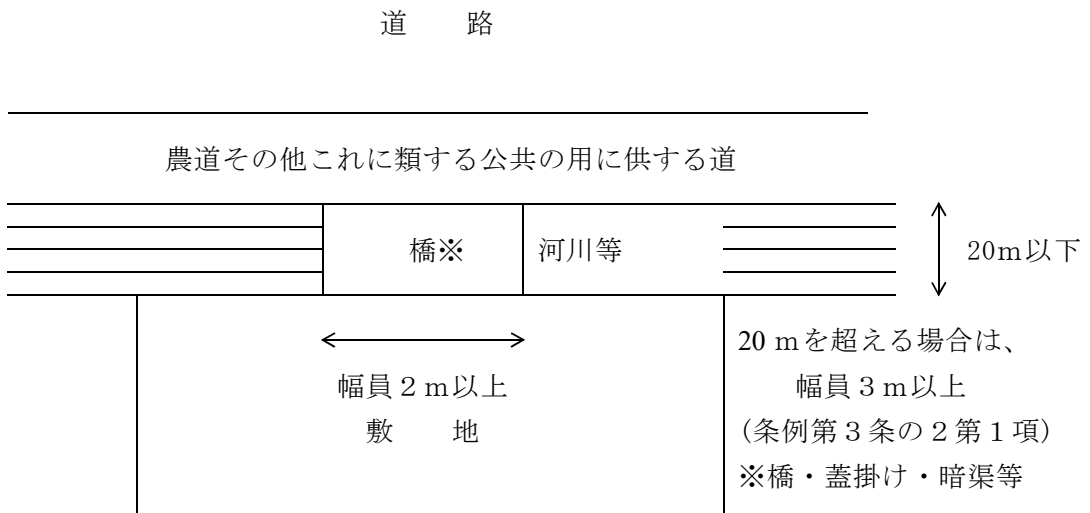
- (1) 第1に該当する場合
- (2) 第2に該当する場合
- (3) 第3に該当する場合

注：福島県建築基準法施行条例第3条の2及び第4条の規定の準用をする場合のイメージは、第1、第2、第3のイメージ図の道路と敷地又は道路と河川等の間に「農道その他これに類する公共の用に供する道」があるものとする。

○建築物の敷地と道路の間に農道その他これに類する公共の用に供する道がある場合



○第1に該当する場合



○第2に該当する場合



○第3に該当する場合

